

ふるさと歴史散歩 238

～松前史談会レポート～

伊豫岡八幡神社と周辺巡りⅣ

次に宮内小三郎宅からすぐ近くの栄養寺に向かう。栄養寺は、灘町を開いた宮内家の菩提寺である。弘化2(1845)年に建立された山門は総檜造りで西側には龍、東側には亀の彫刻がある。シロアリの被害で傾いたため、山門脚柱取り替え修理が令和3年に完了した。

本堂の左手には、六角柱かき付きの宮内清兵衛夫妻の墓、その左に兄・九右衛門の墓、宮内兄弟の父・庄右衛門の墓など灘町開拓者の墓碑が立ち並んでいる。

本堂裏門近くには、正岡子規の書道の師、漢学者武知五友の墓をはじめ宮内柳庵、陶性貞、俳人仲田夢邨ら、当時の郷土を育てた学者たちの墓が残されている。

武知五友は、松前町上高柳(五松庵)に一時居住し、地元の子どもの教育に携わったことでも知られている。

「栄養寺」の寺名も珍しい。幼少時代から北山崎村で育った栄養学の創始者であり初代栄養研究所所長佐伯矩博士は、この寺名から栄養と命名したといわれている。参道南に佐伯矩博士の顕彰碑がある。碑文によると佐伯博士は、北里研究所で細菌や酵素を研究、野口英世博士とも親交があったという。ひょ

として20年後には、千円札の肖像になるかも。

最後に、いせきこたろうさんが灘町に開設した「こたろう博物館」を見学し、一行は歴史散歩を終了した。(宮内祐記)
【参考文献】『いよぐると88』発行・編集／伊予市観光協会



❶ 栄養寺山門 「栄養寺」という寺号は他に例がなく「栄養」という言葉が使われた例として最古といわれている。栄養学の創始者佐伯矩博士は幼少の頃、寺によく立ち寄ったといわれ、現在も博士の筆による栄養の書が残っている。それまでは「営養」の文字が使われていたが、博士が「栄養」のほうが適切であると文部省に進言し、大正9年に「栄養」の文字が公用語として使用されるようになった【参考】栄養寺由来・縁起

❷ 佐伯矩博士の顕彰碑 佐伯矩は、現在の京都大学医学部から旧内務省伝染病研究所に入り、北里柴三郎博士の下で細菌学および酵素について学び、大根から消化酵素「ラファヌスジアスターゼ」を発見した。アメリカのエル大学で生理化学を学び、帰国後の大正4(1915)年、私立栄養研究所を設立、栄養改善を全国各地に説いて回り「偏食」「栄養食」などの言葉を作り、栄養の総合的研究で世界的権威となった『愛媛人物博物館～人物博物館展示の愛媛の偉人たち～』より抜粋)

3月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日

◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457

◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313

◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

西公民館

毎月順番に活動内容をお届け!

放課後子ども教室



⑥落とさないように慎重に
⑥よく狙って

1月24日、8回目の西公民館放課後子ども教室を行い、みんなで風船を使って遊びました。

まずは風船を使ったゲームをしました。風船を丸くなるように組み合わせで作ったボールで遊んだり、長い風船を投げて輪っかに通すことができるか競うゲームをしたり。子どもたちは、初めて体験する風船遊びに目を輝かせていました。

ゲームの後は、風船を使った工作。子どもたちは風船をねじる方法を学んだ後、それぞれがねずみや剣などを作って遊びました。

子ども教室が終わった後、作った風船を袋いっぱいに入れて帰った子どもたち。ゲームや工作を通して、楽しい時間を過ごすことができました。

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140
FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆3月の休館 3日(月)～12日(火)、31日(日)

おはなし会
15日(土)
11時～
文化センター
2階ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶謎の香りばん
屋から
土屋うさぎ・著
宝島社



パン屋でアルバイトをしている大学生の小春。パン屋で繰り広げられる日常の謎を小春の洞察力で解決する。焼き立てパンの優しい香りのミステリー

▶死んだ山田と教室
金子玲介・著
講談社



夏休みが終わる直前、人気者の山田が死んだ。悲しみに沈むクラスメイトだが、スピーカーから山田の声が聞こえ、騒然となる。どうやら山田は、スピーカーに憑依してしまったらしい?!

▶ザ・ルーム・ネクスト・ドア
シーグリッド・ヌーネス・著
早川書房



久しぶりに会った友人からの「一生のお願い」。余命わずかの彼女からのお願いとは、「その日が来る時、隣の部屋にいてほしい」ということだった

心の中の悪魔



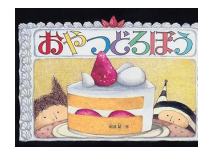
心の中の悪魔
喜入暁・著
フォレスト出版

社会的に望ましくない性質「ダークトライアド」とは。自己中心的で他者操作的、かつ共感性が欠如した人。相手や自分の中の「悪魔」を飼いならす方法とは。人の心の闇をのぞく悪魔な研究書



ベランダで愉
しむ小さな寄
せ植え菜園
たなかやす・著
山と溪谷社

コンテナ一つから始められるベランダ菜園の楽しみ方を紹介。自然の力を生かして育てるから、安心、おいしい!春夏秋冬、いつからでもスタートできる、小さな菜園づくりのアイデアBOOK



▲おやつどろぼう
阿部結・作 / 福音館書店
お母さんが隠したケーキを探しに冷蔵庫をのぞいたアカーキーは、ケーキを盗もうとしているおかしい生き物「しましま」を見つける。ケーキを取り返すため、アカーキーは冷蔵庫の奥へ